

## 旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時: 令和8年〇月〇日 〇〇時  
調査者氏名: 株式会社〇〇建設 〇〇 〇〇

## I) 建築物の概要

1. 建築物の所有者: 〇〇 〇〇  
2. 建築物所在地: 糸魚川市〇〇  
3. 階数: 2 階

## II) 前提条件の確認(いずれも必須)

チェック欄

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 木造住宅である                 | ✓ |
| 昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した | ✓ |

## III) 一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

(1以上ある場合は倒壊の危険性があると判断)

|       |                              |   |
|-------|------------------------------|---|
| 建物全体  | 全体又は一部に崩壊がある                 |   |
|       | 全体又は一部に傾斜や変形がある              |   |
| 地盤・基礎 | 地盤沈下が生じている                   |   |
|       | 基礎がコンクリート以外(玉石、石積み、ブロック等)である |   |
|       | 基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる    | ✓ |
| 老朽・腐朽 | 柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある       |   |
|       | 柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる        |   |
|       | 柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる     |   |

## IV) 壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

|    | (イ)     | (ロ)                 | (ハ)  | (ニ)  | (ホ)壁の割合 |
|----|---------|---------------------|------|------|---------|
| 方向 | 壁の長さ(m) | 建面(m <sup>2</sup> ) | イ/ロ  | 必要値  | ハ/ニ     |
| X  | 27.50   | 75.00               | 0.37 | 0.20 | 1.85    |
| Y  | 20.00   | 75.00               | 0.27 | 0.20 | 1.35    |

(イ) 壁の長さの合計

① X(横)方向



② Y(縦)方向



①②のうち小さいほうを記入してください。



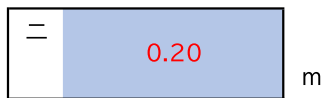
(ロ) 面積



(ハ) 単位面積あたりの壁の長さ

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \text{イ} & 20 \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|c|} \hline \square & 75 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|} \hline \text{ハ} & 0.27 \\ \hline \end{array}$$

(ニ) 必要な壁の長さ



下の表から該当するものを選んで記入してください。

| 屋根の種類 \ 階数                | 平家   | 2階建  |
|---------------------------|------|------|
| 軽い屋根<br>(鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等) | 0.20 | 0.52 |
| 重い屋根<br>(かや葺・瓦葺等)         | 0.27 | 0.59 |

(ホ) 壁の割合

$$\begin{array}{|c|c|} \hline \text{ハ} & 0.27 \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|c|} \hline \text{ニ} & 0.20 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|} \hline \text{ホ} & 1.35 \\ \hline \end{array}$$



部分に該当する数値を入力すると計算されます。